

旅行企画担当者様

全5枚

## 2022年度「第47回 京の夏の旅」文化財特別公開 について

公益社団法人京都市観光協会

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度で47回目を迎える京都市・京都市観光協会主催の「京の夏の旅」キャンペーンの概要についてお知らせいたします。

下記情報は現時点での情報となります。今後変更となる場合もございます。

\*\*\*\*\*

### 「京の夏の旅」キャンペーン

京都市・京都市観光協会主催の毎年恒例の夏の観光キャンペーン「京の夏の旅」は、2022年度で47回目を迎えます。普段見学することのできない文化財を期間限定で公開する「文化財特別公開」、テーマを設けて各地を効率よくめぐる「定期観光バス特別コース」、京の伝統産業や伝統文化などに触れる体験型プラン京都「千年の心得」など、多彩な内容で実施いたします。

◆キャンペーン期間：2022年7月1日（金）～9月30日（金）

◆キャンペーン内容：

#### 【文化財特別公開】

「第47回京の夏の旅 文化財特別公開」も、個人・団体ともインターネットからの「**予約優先**」制（空きがあれば当日受付も可）で公開する可能性がございます。

予約の方法、サイトの詳細については、2022年4月初頃お知らせ予定です。

○お問合せ先 公益社団法人京都市観光協会 誘致事業課

TEL：075-213-0020（誘致事業課 直通 平日のみ） FAX：075-213-1011

※但し、旧三井家下鴨別邸の見学については、直接お申込みください。（TEL：075-366-4321）

- ・ご拝観の際にはマスクの着用をお願いいたします。
  - ・体調不良もしくは37.5度以上の熱がある場合は、ご拝観をご遠慮くださいますようお願いいたします。
  - ・拝観前にアルコールにて手消毒をお願いいたします。
  - ・拝観に際しては係員の案内に従っていただきますようお願いいたします。
- その他、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いいたします。

\*\*\*\*\* 「京の夏の旅」文化財特別公開 \*\*\*\*\*

通常非公開の文化財が期間限定で特別公開されます。

（2022年2月17日現在の予定 今後、追加、変更の可能性あります）

- 公開箇所： ■きたのてんまんぐう北野天満宮 ほうもつでん宝物殿 ■きゅうき旧嵯峨御所 だいかくじ大覚寺 れいほうかん霊宝館  
 ■かみがもじんじゃ上賀茂神社 ほんでん本殿・ごんでん権殿 ■しもがもじんじゃ下鴨神社 ほんでん本殿・おおいどの大炊殿 ■にんなじ仁和寺 こんどう金堂・みえどう御影堂  
 ■きゅうみつつけしもがもべつてい旧三井家下鴨別邸 しゅおく〈主屋二階〉 等

○公開期間：2022年7月9日（土）～9月30日（金） 84日間

\*旧嵯峨御所大覚寺 霊宝館：～9/12（月）の公開となります。

\*仁和寺 金堂・御影堂：7/21（木）、8/21（日）、9/21（水）は13：00～の公開となります。

\*旧三井家下鴨別邸（主屋二階）：8月中の土休日を中心に数日間の公開となります。

（期間外は通常公開・水曜休館）

その他、祭典・法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。最新情報は京都観光Navi ホームページ「京の夏の旅」（5月下旬頃公開予定）で随時更新 <https://ja.kyoto.travel/>

○公開時間：10：00～16：30（16：00受付終了）

\*北野天満宮 宝物殿は 9：00～16：30（16：00受付終了）

\*旧嵯峨御所大覚寺 霊宝館 9：15～16：45（16：15受付終了）

通常拝観（入山）受付を16：00までにお通りください。

\*旧三井家下鴨別邸（主屋二階） 9：00～17：00（16：30受付終了）

○料金（公開箇所により異なります・1ヶ所につき）：

■上賀茂神社 本殿・権殿、下鴨神社 本殿・大炊殿、仁和寺 金堂・御影堂

個人 大人 800円／小学生 400円

団体（15名以上）大人 720円／小学生 360円

■北野天満宮 宝物殿

個人・団体とも 大人 1,000円／小学生 500円 ❀記念品付

■旧嵯峨御所大覚寺 霊宝館

個人・団体とも 小学生以上 500円 ❀記念品付

※別途通常拝観料要（個人・団体とも 大人 500円／小中高生 300円）

■旧三井家下鴨別邸 主屋二階（通常公開部分の料金含む）

調整中

○お問い合わせ：京都市観光協会 TEL 075-213-1717（平日9：00～17：00）

靴を脱ぐ必要のある場所には靴棚を設置しておりますが、靴間違い防止のため「靴袋持参」をお勧めしております。※

プラスチックゴミ削減のため靴袋配布は行いません

○公開箇所の概要：

■上賀茂神社（賀茂別雷神社）本殿・権殿

～**神山**を拝する清澄な神域 国宝本殿と権殿～

世界文化遺産・上賀茂神社は、正式には「賀茂別雷神社」といい、神代の昔に御祭神が降臨され、飛鳥時代にはすでに現在の社殿の礎が造営されたという京都最古の社の一つ。広大な境内に建ち並ぶ檜皮葺きの典雅な社殿のうち、賀茂別雷神を祀る「本殿」と常設の仮殿「権殿」が国宝、その他の41棟が重要文化財で、21年に一度の「式年遷宮」によって古式の通り修復されてきました。

本殿（国宝）と権殿（国宝）を神職のご案内で特別参拝していただくほか、貴重な御神宝なども拝観していただきます。



所 在：北区上賀茂本山 339

アクセス：・京都駅から市バス4系統「上賀茂神社前」下車徒歩すぐ、もしくは市バス9系統「上賀茂御園橋」下車徒歩約5分

★大型P：上賀茂神社P（無料・予約不要）

★拝観所要時間：約45分（駐車場から受付まで片道約5分）

■ <sup>しもがもじんじゃ</sup>下鴨神社 (賀茂御祖神社) <sup>ほんでん</sup>本殿・大炊殿

～古代の森に包まれた国宝本殿と神様の台所～

世界文化遺産・下鴨神社は、正式名称を「賀茂御祖神社」といい、京都最古の社の一つ。紀元前と同じ原生林の植生を残し、縄文土器も出土した「<sup>ただす</sup>糺の森」(史跡)の中に、国宝2棟、重要文化財53棟を含む社殿群が残されており、21年に一度の「式年遷宮」によって古式の通り忠実に修復されています。

<sup>か も たけつぬみのみこと</sup>賀茂建角身命と<sup>たまよりひめのみこと</sup>玉依媛命を祀る東西2棟の美しい「<sup>ながれづくり</sup>流造」の本殿(国宝)を特別参拝所から間近で拝観していただくほか、神社建築としては珍しい神様のお台所・大炊殿(重文)も拝観していただきます。



所 在：左京区下鴨泉川町

アクセス：・京都駅から市バス4・205系統「下鴨神社前」下車徒歩すぐ

・京都駅からJR奈良線「東福寺」駅で京阪電車乗換「出町柳」駅下車徒歩約12分

★大型P：下鴨神社P(無料・予約不要)

★拝観所要時間：約45分(秀穂舎は別途約15分)

※秀穂舎は15:30受付終了 ※本殿・大炊殿～秀穂舎間の移動は徒歩約10分

■ <sup>にんなじ</sup>仁和寺 <sup>こんどう</sup>金堂・<sup>みえどう</sup>御影堂 <sup>おむろ</sup>御影堂は「京の夏の旅」初公開

2023年「弘法大師御誕生1250年」「真言宗立教開宗1200年」を迎えます！

～御所から移築の宮殿建築 弘法大師が住まう仏堂～

真言宗御室派総本山で世界文化遺産。「御室御所」と呼ばれ代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、桃山時代の御所の紫宸殿(即位の大礼などの儀式が行われた建物)を移築した金堂(国宝)は、現存最古の紫宸殿の遺構として貴重な建物です。極彩色の美しい「浄土図」が描かれた荘厳な堂内には、本尊・<sup>あみださんぞん</sup>阿弥陀三尊像や<sup>たいしやくてん</sup>四天王像、<sup>せりりょう</sup>帝釈天像などが安置されています。

また「京の夏の旅」初公開となる御影堂(重文)は、京都御所の清涼殿の材を使って寛永年間(1624～1644)に再建された<sup>ひわだぶき</sup>檜皮葺屋根の優美なお堂。通常は入ることのできない内陣部分には、真言宗の祖・<sup>こうぼうだいしゅうかい</sup>弘法大師空海や、仁和寺開山・<sup>うだほうおう</sup>宇多法皇などの尊像を安置しています。



所 在：右京区御室大内33

アクセス：・京都駅またはJR嵯峨野線「円町」駅から市バス26系統またはJRバス「御室仁和寺」下車、徒歩約2分

・京都駅からJR嵯峨野線「太秦」駅で嵐電乗換、「撮影所前」駅から「御室仁和寺」駅下車、徒歩約2分

★大型P：仁和寺駐車場

★拝観所要時間：約40分(駐車場から受付まで片道徒歩約5分)

きたのてんまんぐう ほうもつでん  
**■北野天満宮 宝物殿**

ひげきり  
 ～源氏の兄弟刀の一つ「髭切」ほか刀剣～



御祭神に菅原道真公（天神様）をお祀りする全国天満宮の総本社。梅と紅葉の名所であり、学問・芸能の神様として信仰を集めています。豊臣秀頼が造営した桃山建築の豪華さを今に伝える八棟造の本殿（国宝）や、三光門（重文）などが建ち並ぶ境内で、特別公開される宝物殿では、文武両道に秀でた天神様にあやかろうと武士たちが納めた武具や絵馬などの奉納品を展示。なかでも平安時代、武将・渡辺綱が鬼を切ったという伝説の太刀「鬼切丸（別名：髭切）」（重文）は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する源頼朝も所持したという名刀です。そのほか加賀前田藩が奉納した金蒔絵の鞘に浅葱色が美しい糸巻太刀拵の「恒次」（重文）、豊臣秀頼奉納の「國広」（重文）など人気の刀も一挙公開。甲冑や鏡、書物や絵巻などの神宝も拝観頂きます。

所 在：上京区馬喰町  
 アクセス：・京都駅から市バス50・101系統「北野天満宮前」下車、徒歩すぐ  
 ・京都駅からJR嵯峨野線「円町」駅で市バス乗換、「西ノ京円町」から市バス203系統で「北野天満宮前」下車、徒歩すぐ  
 ★大型P：北野天満宮P（無料、但し毎月25日は縁日「天神市」のため利用不可）  
 ★拝観所要時間：約30分（駐車場から受付まで片道約2分）

きゅうきがごしよだいかくじ れいほうかん  
**■旧嵯峨御所大覚寺 霊宝館**

ひざまる  
 ～「膝丸」の伝承をもつ門跡寺院の名刀～



観月の名所・大沢池（名勝）をのぞむ大覚寺は、平安時代に嵯峨天皇が営まれた離宮をお寺に改め、代々天皇や皇族が住職をつとめた門跡寺院。宸殿（重文）や、御影堂、五大堂などが回廊で結ばれ、今も王朝の雅な雰囲気漂わせています。

特別公開される霊宝館では、通常博物館に寄託されている太刀「薄緑」（重文）が期間中里帰りして特別公開されます。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する源義経も使用したという源氏の重宝「膝丸（蜘蛛切）」の伝承をもつ名刀で、一昨年新調された刀箱や白鞘、はばき、刀箱覆、押形なども展示予定。また大覚寺の本尊である平安時代後期の仏師・明円作の「五大明王像」（重文）や鎌倉・室町時代の「五大明王像」（うち三体が重文）など、大覚寺に伝わる寺宝の数々も拝観できます。

所 在：右京区嵯峨大沢町4  
 アクセス：・京都駅からJR嵯峨野線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩約17分  
 ・京都駅から市バス28系統「大覚寺」下車すぐ  
 ★大型P：大覚寺P（有料） ★拝観所要時間：約60分

**兄弟刀 再び！「髭切」と「膝丸」 同一期間（7/9～9/12）公開！**

平安時代、源満仲の命で作られたという2振の太刀。試し斬りで罪人を切った際、1振は髭まで見事に斬り「髭切」と名付けられ、もう1振は膝まで斬り下げたため「膝丸」と名付けられたとか。『平家物語』によれば、2振はその後何度も改名を繰り返し、「髭切」は源頼光の四天王の一人・渡辺綱が一条戻橋で鬼女に出会い、北野天満宮上空でその片腕を切り落としたことから「鬼切丸」と呼ばれ、「膝丸」は頼光が土蜘蛛を退治したことで「蜘蛛切」と呼ばれるなど、数々の伝説に彩られ源氏嫡流が代々継承したという名刀です。※諸説あり



「鬼切丸（髭切）」重文

「薄緑（膝丸）」重文

きゅうみつつけしももべつてい しゅおくにかい  
■旧三井家下鴨別邸 〈主屋二階〉

～緑に包まれた豪商の別邸 近代の名建築～

下鴨神社の南に位置する豪商・三井家の旧別邸（重文）。明治13年築の三井家の建物に、玄関棟などを増築。格調高い「玄関棟」は、書院造を基調としながら椅子座式で天井を高くするなど、近代的な趣をもっています。また「主屋」は、南に広がる庭園と一体となった開放的な造り。



庭園には灯籠や巨石などが配され下鴨神社境内を流れて来る泉川いづみかわから水を引いた瓢箪型ひょうたんがたの池が作られています。

今夏は、通常公開されている一階と庭園に加えて、通常非公開の二階の座敷を特別公開。庭園を見下ろせる開放的な2階の座敷は、豊かな森に包まれた気分を味わえます。

所 在：左京区下鴨宮河町58番地2

アクセス：・京都駅から市バス205系統「葵橋西詰」下車徒歩約5分、もしくは市バス4・17系統「出町柳駅前」下車徒歩約5分

・京都駅からJR奈良線「東福寺」駅で京阪電車乗換「出町柳」駅下車徒歩約5分

★大型P：なし（下鴨本通にて路上乗降）

★見学所要時間：約40～50分（乗降場所から受付まで片道約5分）

※団体でお越しの場合は、事前に必ずご連絡ください。

旧三井家下鴨別邸 TEL：075-366-4321 ※水曜休館（水曜が祝休日の場合その翌日）

そのほか、京都の伝統文化・伝統産業や京の味覚など、京都の奥深い魅力に触れる体験プランやイベントも！

「京の夏の旅」に関するお問い合わせ：京都市観光協会

TEL 075-213-1717（平日 9:00～17:00）